

第〇回研究室訪問レポート

〇〇〇〇研究室：〇〇先生

2210920012 近大 太郎

第〇回研究室訪問では〇〇先生の研究について話を聞いた。〇〇先生の研究室では耐火や遮音、衝撃低減など安全性や快適性について深く追及されていた。身近によく見る遮音壁にも銅板、植栽壁、緑化壁などの種類があり、それぞれ遮音性能が異なる結果になっている。緑化壁が、一番遮音性能が高いことに驚いた。床の遮音性能や転倒時の頭部衝撃緩和構造の研究も行われており、普段何気なく生活している住居のいたるところに工夫が施されていることを知って、もっといろんなところに注目してみようと思った。

特に印象に残ったところは、材質がどのくらい火に耐えられるのかを検証するために、実験用に作った壁に火をつけて、燃え広がり方や煙の流れ、温度などいろいろ測定していたところだ。材質によって煙が落ちたり、目に沁みたり、有害な物質を排出しており、とても大変そうな実験現場だった。火や煙などが材質によって特徴が違って面白かった。

生活空間に影響がある環境要因は、他にも空気や湿度、温度、光など沢山あり、自分が今快適に生活できているのは、長く膨大な建築環境研究の上に成り立っていることに気づかされた。まだ自分はどの分野に携わりたいかは決まっていないが、基礎ゼミを通して広く知識を身に付け、進路選択に役立てたい。

このページは、実際のレポートでは消してください。

レポートは、訪問した先生から指示がある場合には、それに従うこと。特に指示がない場合は、次の内容でまとめること。

1. 今回のゼミの内容（概要）
2. 今回のゼミでわかったこと、得たこと、感想など
3. 今回のゼミの先生（研究室）についてわかったこと、印象、感想など

注1：ファイル名は「訪問先教員名+学籍番号」とすること（例：藤井先生 0012.pdf）[訪問先の教員が採点するため、訪問先教員名がわかるようにしておいてください。](#)

注2：A4用紙半ページ程度でまとめること。

注3：原則パソコンで作成すること。どうしても難しい場合は手書きも可とする。

注4：原則 [PDF形式で提出](#) すること。どうしても難しい場合は画像でも可とする。
